

## 平成24年度障害者地域自立支援協議会 就労支援専門部会 検討内容

平成24年8月1日 第1回・・・当事者参画について、進め方の確認

平成24年11月30日 第2回・・・当事者参画、当事者部会について  
中間的な仕組みの他区事例学習

平成25年3月18日 第3回・・・当事者部会委員推薦、中間的な仕組みづくり  
作業所ネットワーク構築PTの取組み

### <H24年度下命事項>

- (1) 就労支援体制の現状と問題点についての情報共有
- (2) 就労の促進・継続を支援するための方策についての検討
- (3) 大学との連携等、就労支援のネットワーク構築についての検討

#### ○下命事項に対する検討経過

下命事項(1)現状と問題点や、(2)継続支援の方策については、H22年度から検討を重ねており、課題として残っていた下記の点についての、改善策を検討してきた。

- <課題>
- ・実習先や雇用先確保のためには、企業・地域との連携構築が必要
  - ・一般就労と福祉的就労との中間的な仕組みを構築していく必要がある
  - ・区からの作業受注を増やしたい。

- <改善策>
- 産業界をはじめとした地域資源との連携
  - 中間的な仕組みづくり
  - 作業所ネットワークの構築を検討

### <H24年度検討内容総括>

今年度は、3回の専門部会において、「当事者参画」の検討及び、「中間的な仕組みづくり」の他区実施例についての学習を中心に議論した。また、施設の専門部会委員を中心に、作業所ネットワーク構築PTを作り、部会とは別に検討の機会を設けた。

#### ○中間的な仕組みづくり

他区事例として、区の外郭団体や社協がコミュニティショップや喫茶を運営、区立施設の清掃受託する中で、障害者の雇用・訓練の場として活用している例を学習した。また文京区における取組の現状も確認し、今後のひとつのたたき台として、就労継続支援A型施設や特例子会社などを誘致する案が出された。

#### ○作業所ネットワークの構築

PT会議を7回実施したが、構成メンバーの施設を相互に見学し、状況を知ることからスタートした。作業受注しやすくするための、共同受注については、現状では品質確保の観点から困難と判断されたが、ネットワーク事務局が受付窓口になることや、共同での宣伝パンフレット作成など、作業所ネットワークの効果として期待できることもあることから、今後も検討を進めていくこととした。

#### ○大学や産業界などの地域資源との連携

今年度、具体的には、「区内大学地域連携担当者会議」において障害者就労等への広報を行ったにとどまり、今後、個別具体的なアプローチを行っていく必要があることを確認した。